

第6回 阿賀野市観光協会設立検討委員会 「会議録」

- 1 日 時 令和8年2月20日 13:30～14:30
- 2 場 所 阿賀野市役所 委員会室（4階）
- 3 委 員 高橋委員長、石塚副委員長、小林和也、荒木風太、齋藤雄介、永松健太郎、
芋川恵里
- 4 事務局 商工観光課：牧野課長、酒井課長補佐、田村係長、浅川主任
阿賀野市商工会：田上室長
- 5 傍聴者 0名
- 6 報告
(1) 第5回観光協会設立検討委員会議事録
- 7 議題
(1) 阿賀野市観光協会の提言書（案）について
(2) （仮称）阿賀野市観光戦略プラン策定について
- 8 その他
- 9 会議の内容
(会議の公開について)

○職員

会議に先立ちまして、本検討委員会は「阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条第1項（公開の基準）にあります、「審議会等の会議は、原則として公開する。」の規定により、公開での開催とさせていただきます。

また、要綱第7条に基づく議事概要は委員の皆さまの氏名を伏せたうえで、発言内容を議事録として公開させていただきます。このため、委員の皆さまの発言内容を録音させていただきますので宜しくお願い致します。

1 開会

○職員

本日はお忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

ただいまから第6回 阿賀野市観光協会設立検討委員会を開会いたします。

今回の検討委員会では提言書（案）について委員の皆様から協議をいただき、この結果をもって3月に提言書を市長へ提出する予定としています。

よって、今回の検討委員会が皆様からお集りいただく最後の検討委員会となりますので、最後まで慎重審議をお願い致します。

なお、土井委員、遠藤委員、坂井委員、小島委員、五十嵐委員からは、所用により本検討委員会の欠席、斎藤委員からは遅れる旨の連絡をいただいておりますので、ご報告申し上げます。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。

初めに委員長より開会の挨拶をお願いいたします。

2 委員長あいさつ

○委員長

皆さんお疲れさまです。お忙しい中出席頂きありがとうございます。

これが、とりあえず今回の1回の締め切りと申しますか、節目になるかと思えます。最後のこうやって集まる中で、忌憚のない意見を出していただいて、素晴らしい提言書が出せるようにしていただければ非常にありがたいと思えます。

○職員

ありがとうございました。それでは、以降の議事進行につきましては委員長より宜しくお願いいたします。

3 報告

○委員長

それでは、報告事項を事務局から報告をお願いします。

○職員

3. 報告の、第5回観光協会設立検討委員会議事録になりますが、議事録につきましては1月15日付けで検討委員の皆様へメールで照会、確認をさせていただいておりますので、本日は説明を省略させていただきます。

○委員長

ありがとうございます。

4. 議題（1）阿賀野市観光協会の提言書（案）について

○委員長 続きまして議題について事務局よりお願いします。

○職員（1）阿賀野市観光協会の提言書（案）について。

今まで5回ほど検討委員会を開催し、今後の阿賀野市観光協会のあるべき姿として、観光協会の自立について検討していただきました。これまで皆さんから協議いただいた事項を含め事務局で提言書（案）を作製し、委員長、副委員長より内容について確認をいただいております。この度は事前に提言書（案）をお送りさせていただき、委員の皆様からは事前に目を通していただいていると思っておりますので、意見や要望がありましたら遠慮なく発言をしてください。

私の方から項目単位で説明させていただき、皆様から意見をお聞きする形で進めさせていただきます。

それでは、「はじめに」を説明させていただきます。

【「はじめに」について説明】

○**委員長** はい、ありがとうございました。今ほど事務局から説明がありましたが皆様方から何かご意見がありましたらお願いいたします。

一同発言なし

意見が無いようなので次に「検討の視点」について説明願います。

○**職員** 続いて、「検討の視点」について説明させていただきます。

【「検討の視点」について説明】

○**委員長** はい、ありがとうございました。今ほどの説明にご意見ありますでしょうか。

一同発言なし

意見が無いようなので次の「（１）阿賀野市観光協会の自立について」説明願います。

○**職員** 続いて、観光協会の自立に対する提言になります。今までは前段ということで流れがあったわけですが、ここから先の４項目については今回の検討委員会から市に対して提言をするものであります。ですので、この部分については皆さんから忌憚のない意見をいただければと思います。最初に「（１）阿賀野市観光協会の自立について」説明させていただきます。

【「（１）阿賀野市観光協会の自立について」説明】

以上のおり市への提言があるわけですが、今日皆様にお配りした資料の一番最後にA3の紙が入っています。これは一昨年（2019年）10月30日の記事と昨日の記事で、加茂市の観光協会が任意団体で活動していましたが、この度一般社団法人に変わりますとの内容です。これが参考になるかどうかですが、いきなり一般社団法人になるのか、任意団体としていくのかを含めて皆様から意見をいただければと思いますが宜しくお願いします。

○**委員長** これについてご意見ありますでしょうか。すいません、私がちょっと聞きたいのですが、円滑に進めるために一定期間任意団体の方が都合がいい理由は何かありますか。

○**職員** 当初は一般社団法人との話もあったのですが、一般社団法人になるためには多様な手続きが発生していきます。そのようなことを鑑みて、早く自立という形で行くのであれば任意団体からスタートしても悪くないと思います。一般社団法人になると財政面等もありますし、様々な手続きが発生してきますので、単純に時間だけの話をさせていただいているところです。

- 委員長** 加茂市も時差が出ているので。ただ、準備期間という意味と受け取ればいいのでしょうか。例えば、現状の観光協会が半年後に一般社団法人になると決めてしまえば、それにあわせて今のままで。加茂市のように解散して一般社団法人になっていますが、そこは特に必要はないということでしょうか。
- 職員** 詳細については把握していません。その辺りは加茂市の方に確認してみます。
- 委員長** その辺りは、事前に加茂市に確認しておいた方がいいです。何か理由があったのかと思いますので。
- 職員** 今後の自立の流れで必要になりますので、確認しておきます。今回の記載としては検討委員会として、選択肢を記載させていただいたという経緯であります。本来は一般社団法人としての活動がベストですが、諸般の手続きの関係を考慮して、加茂市のような任意団体として1年から2年準備した後、一般社団法人に変わるという選択肢もあるのではないですかとの標記になります。
- 副委員長** 一般社団法人にする時に新規で人を採用しなければいけないですよ。任意団体として募集をすると影響が出るのかどうかという懸念。たとえば加茂市の例でいえば、この3名は適任者を選べたわけですが、Uターンしてまで人が来るか。これは任意団体だと安定しない感じがして手を挙げる人の質が落ちるとか、覚悟が変わるとか、もしそのようなことが一般的にあるのであれば、その辺りも考慮したほうがよいのではないのでしょうか。いい人材を取るといのは重要なポイントだと思いますので、その点で懸念が無いようにしてほしいです。
- 職員** 受け皿となる対象が大事になってくると思います。
- 委員長** 一般社団法人にするのであれば、早ければ早いほどいいのでは。今の話を前提にするのであれば。
- 職員** この部分の記載についてはどうしたらいいのか、みなさんからの意見を願います。
- 委員長** この、安定運営とは。
- 職員** 新たに自立したときに、職員が変わるわけで、その中で事務が遅延することも考えられます。そこで遅延なく観光協会としての流れを進められる時点でのことで入れました。
- 委員長** 一定期間とありますが、これは誰が決めるのでしょうか。
- 職員** そこは観光協会が判断するところだと思っています。この状態であれば一般社団法人として活動していけると判断した時点と思っています。これはあくまでも検討委員会としての提言になりますので、最終的には観光協会が自立を進めて行く段階で決めていくことだと思っています。ここで検討委員会として期限を決めてしまい、そこまでに焦って進めるよりも、その時の状況に合わせて動けるようにしておいた方がいいと思います、期限は入れませんでした。
- 委員長** その他意見はありませんか。
- 委員** 最後の3行なんですが、この件に関しては観光協会内部でも考えなければいけないことかと。法人にするべきか、任意団体とするべきか、なかなか言えないところだと思います。この委員会ではここまで求められていないことなのかなと感じます

が、自立し円滑した運営を進めるのは大事なことですが、それ以外のどちらにするかは無くてもいいのではないのでしょうか。もう一つ言うのは財政負担を縮小させるためと言いますが、独立するにあたって操業資金というか資本金がないと、なかなか収益事業をやっていこうとすると難しい部分もあります。現実に立ち上げるには資本金的なものは最初に必要なだを書いておかないといけません。人口減少に伴ってボランティアで活動するという方針・精神で観光協会をやっていく人もいなくなっていくと思います。その中で皆のために頑張っているのに、自分のためにならないことは良くないですし、やりがいも掻き立てられるような協会の運営が必要ではないのでしょうか。

○委員長 ありがとうございます。

○職員 そうしますと、この3行を削除することになるのでしょうか。今の発言で行きますと、ここには任意団体や一般社団法人という言葉は入れないということでしょうか。

○委員 省いてもいいかと思います。その提言を受けてどのようなスタイルにするかを観光協会の方で考えていただいた方がいいかなと思います。

○職員 次の段階でとのことでいいですか。

○委員 そのとおりです。

○職員 今回の検討委員会では自立した方がいいですよ。ただし、自立の形については問わないということですか。

○委員 執行部の中でも早く進めようとするなら任意団体ですし、それなりに時間をかけて自立となれば一般社団法人になります。それに伴って行政がしっかりと予算を付けていただけるのかというのがポイントになってきます。その考えがなくて、あっちがいい、こっちがいいというのは違うのかなと思います。

○委員長 形が任意か一般社団法人かというだけの話で、中身がポイントになるのですが。今まで以上に最初は負担があるわけですが。

○職員 そうしますと、今回は最後の3行を削る形でいいですか。

○委員 私の個人的意見ではそのようにした方がよいと思います。

○委員長 皆さんどうでしょうか。削る方向でいいですか。

異議なし

○委員長 他に意見のある人はいますか。意見が無いようでしたら次の項目に移ります。

観光協会の自立に対する提言「(2)阿賀野市観光協会への市役所職員の派遣について」事務局より説明願います。

○職員 続いて、観光協会の自立に対する提言「(2)阿賀野市観光協会への市役所職員の派遣について」説明させていただきます。

【「(2)阿賀野市観光協会への市役所職員の派遣について」説明】

○委員長 今ほど事務局より説明がありましたが、意見などありましたら発言をお願いします。

します。

このままでよろしいでしょうか。

異議なし

○**委員長** それでは、観光協会の自立に対する提言「（３）財政支援について」事務局より説明願います。

○**職員** 続いて、観光協会の自立に対する提言「（３）財政支援について」説明させていただきます。

【「（３）財政支援について」説明】

○**委員長** 今ほど事務局より説明がありましたが、意見などありましたら発言をお願いします。

○**委員** 観光協会が独立し、仮に市の財政を圧縮することが出来た団体って結構あるんですか。

○**職員** ないと思います

○**委員** そうですね。利益事業といってもそこからの利益は物凄く少なく、市の補助金を圧縮していくことが出来るのかというと、３年から５年は一生懸命にやらないと売上げから収益って難しいと思っています。

○**職員** 今後自立した場合、観光協会は必ず補助金での運営が必要になってくると思われます。財政部局から言われるのは、いつまでも補助金を頼ってではダメだと言われます。

仰るとおり、どこの観光協会も独自で運営しているところは少ないと思います。

多様な方法があって、観光旅行の手数料であったり、独自の物販をして収益を上げているところがあるようです。

○**委員長** これでいいでしょうか。

異議なし

○**委員長** それでは、観光協会の自立に対する提言「（４）観光協会の事務所について」事務局より説明願います。

○**職員** 続いて、観光協会の自立に対する提言「（４）観光協会の事務所について」説明させていただきます。

【「（４）観光協会の事務所について」説明】

○**委員長** 今ほど事務局より説明がありましたが、意見などありましたら発言をお願いします。

代官所もいいですが、問題は駐車場ですね。

- 職員 これも、検討委員会の意見として言っているわけで、先ほどの組織と同じで観光協会がどのように考えるかというところはありますので。
- 委員長 あくまでも検討委員会で検討した結果としての提言ということです。特に意見もないようですので、このままでいきたいと思います。
- 職員 事務局が想定している今後の流れについて簡単に説明をさせていただきます。今後は、3月に委員長と副委員長から提言書を市長へ提出していただきます。それが終わりましたら、提言を受けた市から観光協会へ提言書の内容を伝えます。それを受けて観光協会理事会で自立について協議をしていただきます。その後、観光協会として自立の検討を進めます。ここで自立を進めましようとなれば、観光協会の自立について総会で議決を得ます。その後に観光協会の自立の準備し、準備が整った段階で観光協会の自立をします。という、一連の流れを考えています。
- 委員長 一連の流れの説明の中でご意見などありますでしょうか。提言書を出してから、しばらくこの流れになります。宜しくお願ひします。特に意見が無いようなので、この流れで進めて行きます。

4. 議題（2）（仮称）阿賀野市観光戦略プラン策定について

- 委員長 次に議題（2）（仮称）阿賀野市観光戦略プラン策定について説明願ひます。
- 職員 別冊となっています、「阿賀野市観光戦略プラン」策定について説明させていただきます。第5回の検討委員会の最後に職員より説明のありました「阿賀野市観光戦略プラン」についてお話させていただきます。「阿賀野市観光戦略プラン」は平成20年に策定し、計画期間が5年間で平成20年から25年までの計画でした。これ以降については「阿賀野市総合計画」の中で管理していくこととし、改めて「観光戦略プラン」は策定していなかったため、平成25年以降は観光に対して特別プランはありませんでした。しかしながら、今はこのような観光戦略プランが必要ではないかと考えています。今ほども皆さんから協議いただいたとおり、観光協会については今後独立に向けて動いていくことが想定されることから次年度以降に同様の計画を策定し、以前の検討委員会で意見がありました、阿賀野市の観光の今後のあるべき姿、目標とする形を掲げ、行政と観光協会が共に進めていく必要があります。今後、このような計画を策定するには新たな委員会を設置する形になると考えています。今回は、皆さんに以前はこのような計画があったことを知っていただきたく資料として提出させていただきました。
- 委員長 ありがとうございます。今回は、以前にあった計画を皆さんに資料としてお示ししたわけですが、特に協議することはありません。ただし、意見や要望などがありましたら発言願ひます。この観光戦略プラン以降観光客の入込は増えているのですか。
- 職員 増えています。道の駅あがのやヤスダヨーグルトのYYガーデンとかが新しくなっていたりしていますので、コロナ禍前よりも今は増加しています。集客は増えて

いますが、周遊しているかということ、そこは確認が取れていません。

○**委員長** 他に意見などありませんでしょうか。

○**副委員長** 今度はKPIとかKGIとかを市の総合計画の10年後の数値とリンクするように作っていくのと、時間軸で切っていくやり方と同時に行っていくようなプランがいいと思います。点で議論していても中々総合力が上がらず、繋がっていかないという課題を解決できないので、目標を掲げるといいかなと思いました。

○**委員長** ありがとうございます。まったくその通りだと思います。最終目標は少し出てきたりするのですが、そのためにはどのようにしたらいいのかと言うのが欠けているのかなと思って見ていました。

他になにかありますでしょうか。

本日が最後になりますので、全体を通して何かありますでしょうか。

5. その他

○**委員長** 5. その他、全体を通して何か確認したいことや質問事項などはありますか。

ないようでしたら、本日はこれで終了したいと思います。

6. 閉会

○**委員長** ありがとうございます。検討委員会は本日で最後になります。1年と2か月ありがとうございました。皆さんのおかげで何とかここまで来ましたということ、独立というのが皆さんの総意であるということは間違いないですし、これで終わったような形ですが、現実問題これからがスタートの一步前に来ただけの話なので、今後も皆さんのご協力を多くいただくことになると思います。今までご協力をいただきありがとうございました。これで終わらせていただきます。

○**職員** 委員長大変ありがとうございました。また、委員の皆様におかれましては長時間にわたるご審議ありがとうございました。なお、本日審議いただいた提言書の提出につきましては、先ほど職員の方より話のありましたとおり、委員長と副委員長より加藤市長へ直接お渡しをさせていただきます。

今回をもちまして、皆様よりお集りいただく検討委員会は最後となります。先ほど委員長よりお話のありましたとおり、令和6年12月の第1回検討委員会を皮切りに、第6回まで皆様よりお付き合いをいただきまして本当にここまでこれたなという気がしています。これから提言書を出した後、どのような形に持って行くのかというところもこれから検討していかなければならないと思ってます。皆さまの方でお気づきの点などありましたらご意見をいただければと思っていますので今後とも宜しくお願ひします。

以上をもちまして、第6回観光協会設立検討委員会を終了させていただきます。

ありがとうございました。